

mini

タイヤ公取協 だより



10

miniタイヤ公取協だより10です。

まも子が街に出かけて色々な「表示」を探検してくる街プラ企画の第4回。

今回は今街で広がりつつあるダイバーシティに関する表示探検に行ってくるようです。

まも子の表示探検 Part4

テーマ | ダイバーシティ

Part 1 ユニバーサルデザイン(121号)



Part 2 マーク(129号)



Part 3 賢い消費生活(138号)



ひょっとして
今回は出番ナシ?

!!

う~ん
ダイバーシティという言葉を
近ごろよくみかけるわ。

いったいどういう
意味かしら

ダイバーの街?

しらべてみよ

「ダイバーシティ」とは「多様性」を指します。

仲間に入れていこうという意味の「インクルージョン」も近い言葉です。

ふーん、なるほど。
良い取組みね

性別

多様性の一つが「性別」です。男女の性差はもちろん、「LGBTQ+」といわれる性的マイノリティを受け入れる多様性のある社会の実現が求められています。

女性

男女の機会平等が進められていますが、女性の社会進出が当たり前になる中、結婚や出産、育児のライフイベントにおいて、女性のキャリアを阻む要素が残っており、その克服が課題になっています。

えるぼし認定マーク



女性管理職比率や労働時間など、女性の活躍推進に関する取組が一定の要件を満たした場合に厚生労働省が認定し、商品などに「えるぼし認定マーク」を付けることができます。



くるみんマーク



同じく厚生労働省が「子育てサポート企業」として認定した証です。育児休業等取得率、休暇制度利用率が基準値以上などが認定条件となっています。



また、経済産業省と東京証券取引所が共同で、2012年より女性活躍推進に優れた上場企業を「なでしこ銘柄」として選定しています。「中長期の企業価値向上」を重視する投資家による投資を促進し、各社の取組を加速化することが狙いです。

この他自治体や地元企業なども独自の認定制度を作り、女性が一層活躍できる環境づくりに取り組んでいます。

NADE
SHI
KOU
2024

共働き
共育て
Work Style Diversity
2024



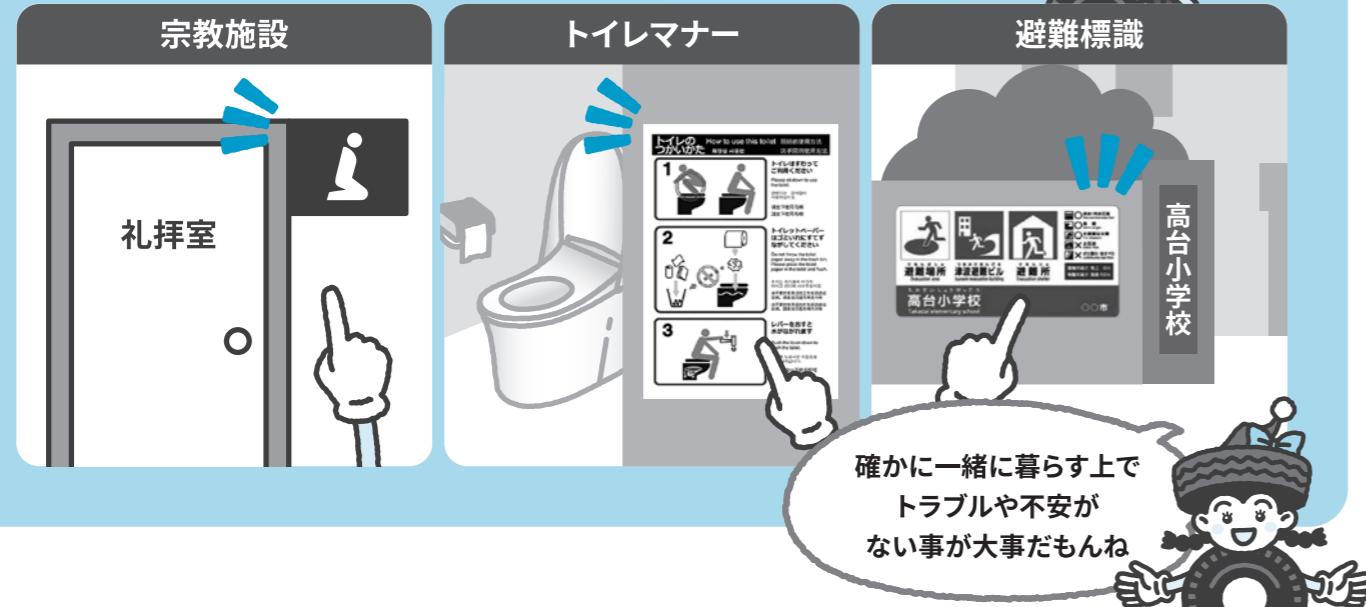
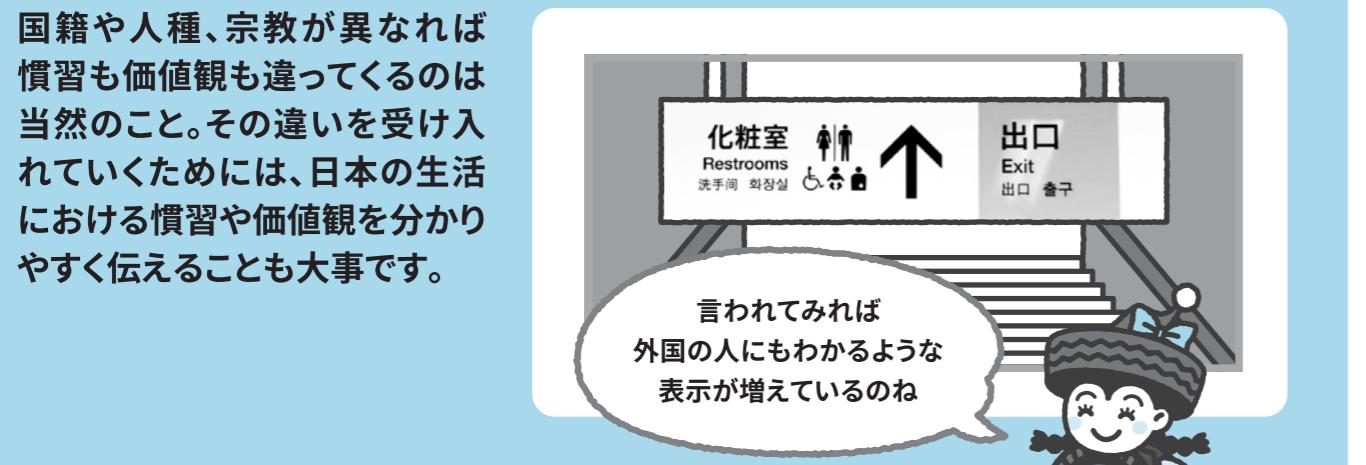
LGBTQ+

昨年6月に性的指向やジェンダー・アイデンティティの多様性に寛容な社会の実現を目指す「LGBT理解増進法」が公布・施行、大きな話題になりました。性的マイノリティの方々が、生きづらさを感じている中で、国民の理解増進を目的としています。



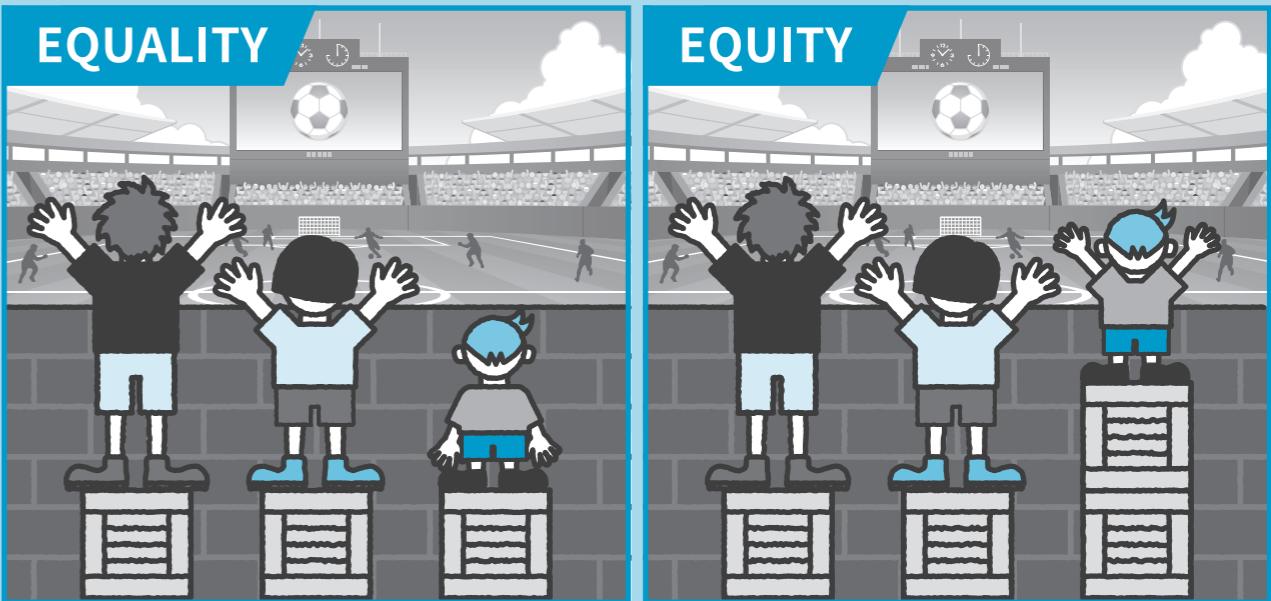
国籍・人種・宗教

国籍や人種、宗教が異なれば慣習も価値観も違ってくるのは当然のこと。その違いを受け入れていくためには、日本の生活における慣習や価値観を分かりやすく伝えることも大事です。



多様な人材の中にはもちろん障がい者や高齢者も含まれます。今回ほんの一部だけでしたが、私たちの身の回りに随分とダイバーシティが増えてきたと感じました。国際的な流れや政府の旗振りもあったとは思いますが、良いことを広げていく力はすごいですね。

なお、ダイバーシティ関連では、このほかに「公平／公正性(EQUITY)」という視点があります。下図のようなイメージです。



サッカーを観戦する3人のこどもたち。
EQUALITY(平等)に対して、
EQUITY(公正性)は3人とも観戦できるようになっています。

参考:公益財団法人日本生産性本部「DE&Iとは?」



タイヤ公取協だより No.147のご案内です。

まもる君の目
vol.65
まもる君の目
発売後1年経過商品

公取協だより本誌では、この記事の他に
適正表示推進強化月間
まもる君の目／イラストデザイン教室
など様々なコンテンツを取り上げています。
会員の方はご覧になってくださいね。

イラスト
デザイン教室
240回実績